

公同礼拝

2023年10月15日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 姜 匠米

奏楽 河野和雄

前 奏

招 詞 詩編103編1b節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

出エジプト記 30章11～16節(旧144)

マタイによる福音書 17章22～27節(新34)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 7

説 教 「主のされる献金」牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 331

献 金

頌 栄 543

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

10月の祈り

主の御心によってキリストの体としての教会がここに立てられ、御言葉に立ち、宣教の使命に生き、主の導きによって今に至るまで守られて来たことに感謝し、世の終わりまで、時が良くても悪くても、御言葉を宣べ伝え、希望をもって歩に歩むことができるように。

礼拝諸集会と各部会、部門会、教会学校、幼稚園の働きが力づけられるように。

平和を求める祈りが力づけられるように。

今日の祈り

伝道献身者が起こされ、各神学校が力づけられ、支えられるように。

教会学校の働きが良い実を結ぶことができるように。信仰の継承がなされるように。

役員(長老)の働きが守られ、主の御委託に応えられるように。

「主のされる献金」高橋和人

マタイによる福音書 17章22～27節

主イエスのエルサレム行きは、ペトロが信仰を告白し、主イエスが受難を予告されたイスラエルの北端から始まる。そこから南下し、これまでの拠点であったガリラヤで弟子たちを集められた。そこで再び御自分の受難を予告された。エルサレムへの道は十字架への道であり、主の言葉は十字架を背景に聞く必要がある。

カファルナウムは漁師の弟子たちと主イエスの生活の場であった。神殿税は年に一度集められる登録料のようなもので、収入の多寡によらず2ドラクマ(二日分の賃金)と決まっていた。税を納めるかはその町に住み、神殿に属するもの共同体の一員かを

表す。ペトロに「先生はイスラエルの一人なのか」と聞いていることになる。ペトロは税を納めるために家に入る。

主イエスはペトロに「税を取り立てる地上の王が自分の子どもたちから取り立てるか」と聞く。そして「子どもたちは納めなくてもよいわけだ」と続ける。天上の王、神殿の王である神が父で御自分がその子どもであることを示される。

主イエスは、「つまずかせないように」とペトロを「釣り行って、その口から銀貨(スタテル、4ドラクマ)を取り出して二人分を納めるように」といわれる。主はペトロと分け合って納めた。

「納めなくともよい」は「自由」という言葉が使われる。それは「無料」と「解放」を示す。パウロは「この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださったのです。」(ガラ5:1)と救いを語る。主は自由を得させてくださった。それを価なしにもたらしてくださった。

パウロは「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。」(ロマ3:23,24)と教える。それは、御自分が十字架を負い死を負われた、わたしの罪の代償として犠牲となられたことだ。

わたしはただで救われた、主の代償によって。子である方が自分の分まで支払って下さり、御子と同じく、父の子どもたちの一人にしてくださった。主イエスはペトロの生活の場の対話にこの十字架の意味をしみ込ませてくださった。

わたしどもの生活の中にも、主の贖いによってもたらされた神の子とされているという恵みがしみ込んでいる。